

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第4回笠間市男女共同参画審議会		
開催日時	令和5年3月8日(水) 午後2時～3時15分		
開催場所	友部公民館2階 討議室	事務局	市長公室秘書課
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由>	傍聴者数	なし
出席者	委員：江田委員、森委員、中嶋委員、渡邊委員、石川委員、田口委員、鈴木委員、井出委員、大久保委員 事務局：(秘書課) 甘利課長、桑嶋係長、内藤主事、(アールピーアイ栃木) 森		
議題	(1) 第4次笠間市男女共同参画計画(最終案)について (2) 令和5年度事業計画及び予算(案)について		
議 事 (審議経過及び発言内容)			
1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1) 第4次笠間市男女共同参画計画(最終案)について 事務局 (資料に基づき説明) 質 疑 委員 計画書本編4ページのSDGsのイラストや5ページのジェンダー・ギャップ指数の図が不鮮明だが、完成版では鮮明なものとなるのか。 事務局 データ容量の関係で今は一部不鮮明なイラストや図があるが、完成時には鮮明なものに差し替えを行う。 委員 本編38ページ下段に二次元コードがあるが、二次元コードに慣れていない方向けに、二次元コード読み込み先の資料を計画書内に掲載しても良いと思う。 事務局 検討する。 委員 本編4ページのSDGsランキングで20位のポルトガルは入れなくても良いのでは。例えばアメリカや中国など、日本にとって身近な国の順位を入れたほうが日本の立ち位置が分かりやすい。 事務局 掲載国については検討し、修正する。 委員 本編13ページの市民意識調査の設問内容で質問の表現を今後検討していただきたい。例えば設問③を「男性は指導力を発揮すべき」から「女性も指導力を発揮すべき」など。 事務局 次回の意識調査の際、検討する。 委員 ジェンダー・ギャップ不平等指数(他の指標)なども取り入れられると良いのでは。 事務局 今回の計画書に取り入れるのは難しいが、男女共同参画推進に関する説明会の機会などに活用していきたい。 ※ジェンダー・ギャップ不平等指数とは、「リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関			

する健康)」と「エンパワーメント」、「労働市場への参加」の3つの側面における女性と男性の間の不平等を表す指標のこと。(日本は191か国中22位と比較的上位である。)

(2) 令和5年度事業計画及び予算(案)について

事務局 (資料に基づき説明)

質 疑

委 員 中学生向けのユニバーサルマナー講習会は市内中学校全体で実施するのか。

事務局 モデル校1校で実施する。モデル校の選定は学務課と調整する。

委 員 若年層向け政治分野への参画啓発とはどのような事業を実施するのか。

事務局 本年2月に試験的にリーダースクラブ(高校生会)と女性議員の座談会を行った。このような企画をブラッシュアップし、今後の事業を検討する。

委 員 高校生が社会人と接する機会があるのは良いことだと思う。

委 員 若年層向けにはスマートフォンを活用するなどしてPRしていくと良いと思う。

委 員 ユニバーサルマナー検定3級とはどのようなものか。

事務局 民間の資格で、多様な人たちとの接し方や心遣いを学ぶ講習で、3級は基礎知識を学ぶもの。

委 員 車いすユーザーへの接し方などを講習で学び、さまざまな人たちに知識が広がるのは良いことである。

委 員 知的障害の方には、イラストなどを使って説明することもある。言葉以上に伝わるものも考えることもユニバーサルマナーだと思う。

委 員 キラリかさまプランでDV防止法に関する記載があるが、DVの相談先などを女性活躍応援サイトにも掲載してはどうか。

事務局 女性活躍応援サイトの内容はこれから決めていくが、そのような情報の掲載も検討していきたい。

委 員 多様性というワードを頻繁に耳にするが、具体的な例を示して伝えたほうが市民も身近に感じると思う。

委 員 多様な生き方・働き方促進事業の内容は具体的に決まっているか。

事務局 特定非営利活動法人子連れスタイル推進協会と連携協定を結んでいる。検討段階だが、市内企業向けに男性の育児休暇取得促進に関するオンライン講座や、防災分野や消防分野の女性活躍につながる内容の講座を検討している。

委員 男性の育児休業取得は、企業向けの促進だけでなく男性自身が育児休業を取得して何をすべきか学ぶ場があると良いと思う。男性の親に向けても意識啓発をしていくと良いのではと感じる。

事務局 講座の内容については検討していく。

委 員 市役所の取り組みについて市民が知らないことも多いので、市民に向けたPRをもっとしてほしい。若い人が地元へ愛着を持つきっかけとなる。

4 閉会